

(3ページより)

【議案第22号】

土地取得費特別会計の総額から歳入歳出それぞれ4619万4千円を減額し、補正後の予算総額をそれぞれ4180万2千円とする。

【議案第23号】

公共下水道事業特別会計の総額に歳入歳出それぞれ2116万4千円を追加し、補正後の予算総額をそれぞれ13億1170万5千円とする。

【議案第24号】

介護保険特別会計の保険事業勘定の総額に歳入歳出それぞれ41万9千円を追加し、補正後の予算総額をそれぞれ23億7511万4千円とする。

【議案第25号】

後期高齢者医療特別会計の総額に歳入歳出それぞれ127万4千円を追加し、補正後の予算総額をそれぞれ4億2539万4千円とする。

平成26年度当初予算を可決

総額224億3,072万円 (前年度比3.8%増)

一般会計	135億6,780万円(前年度比4.6%増)
特別会計	78億2,147万円(前年度比4.1%増)
企業会計	10億4,145万円(前年度比7.7%減)

予 算

平成26年3月11日、12日の両日で予算特別委員会を開催し、審議いたしました主な内容は、次のとおりです。

一般会計の歳入性質別内訳では、市税、使用料及び負担金、繰入金などの自主財源は、95億4827万7千円で歳入全体の70.4%を占めています。市税収入は、82億3895万5千円で前年度比4.9%の増、金額にして3億8755万2千円の増を見込み編成されています。

歳出性質別内訳では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費は56億2238万2千円で歳出全体の41.4%を占めており、前年度と比較し、4.1%の減、金額にして2億4258万1千円の減となっています。普通建設事業などの投資的経費は、4億4582万8千円で、前年度比35.1%の増、金額にして1億1

588万6千円の増となっています。

平成26年度の主要・新規事業等は、市庁舎あり方公募事業に係る民間事業者による広範囲な事業手法の提案を受け付けるプロポーザルを実施するため一連の支援業務を、専門のコンサルタント会社に委託する市庁舎あり方公募事業支援業務委託料1680万円、社会福祉推進事業に係る福祉計画策定支援業務委託料1300万円、認知症早期発見事業に係る認知症予防体制構築業務委託料540万円、小学校維持管理事業に係る高浜小学校の整備に向けた一連の支援業務を、専門のコンサルタント会社に委託する高浜小学校検討業務委託料648万円、また、全小中学校体育館の天井・照明器具などの非構造部材について、専門家による実地調査を行う業務委託料476万円、吉浜・高取小学校の吊り天井撤去工事にむけた設計委託料543万円を計上しています。



市政の ここが聞きたい!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をたずめます。なお、掲載文は質問議員本人の原稿によるもので、各議員の質問と当局の答弁の要旨は次のページのとおりです。